

西尾市長 榊原康正殿

2011年度西尾市政に対する日本共産党の要望書

2011年11月2日

日本共産党西尾市委員会

日本共産党西尾市議会議員

牧野次郎

牧野勝子



西尾市と幡豆郡3町の合併が決定し、2011年4月の合併に向けて、財政的にも、事務量でも予想すらできない大変な年になります。

市民の暮らしは、厳しい不況の影響を受けて、所得は下がり続け、昨年の市民ひとりあたりの所得額323万1000円はその5年の前の所得341万5000円と比較して20万円近く減少しています。国民健康保険税の滞納者数も、6年前は3131人でしたが、昨年は4610人と増えています。生活保護を受給している人は、6年前は134世帯でしたが、昨年は254世帯、今年308世帯と急増しています。農業も中小零細企業も、円高や民主党の政策によって大変厳しい状況に追い込まれています。

こんな時、西尾市は市民の暮らし、福祉を充実し、安心して住み続けられるまちにすることが求められていました。

ところが、この一年、西尾市は合併に突き進み、市民の暮らしや市民の思いは置き去りにされたままです。10月からは市民病院での分娩ができなくなりました。早急に復活しなければなりません。国も県も、不況対策、雇用対策として市職員の臨時雇用を推進しているにもかかわらず、多数の市臨時職員が合併により雇い止めになる状況も生まれています。すでに、施設の利用料や延長保育料などの新たな負担や、負担増も計画されています。合併が市民に痛みを押し付けながら強行されたことは、市民に対する二重の背信行為です。

また、建設が計画されていた事業のうち、先送りされてきた室場子ども園や、矢田ふれあいセンターの予算化も急がねばなりません。

市民の納めた税金が、市民の願いに沿って公平、公正に使われることを求め、2011年度市政要望書を提出します。

日本共産党

来年度市政要望提出を
市民生活困窮救済を

日本共産党西尾市委員会と、牧野次郎、牧野勝子議員は、10月1年度市政要望書を11月2日に市長に提出します。来年4月には合併が行われるため、幡豆郡一色町の鶴田橋、斎藤恒美、吉良町の加藤康弘、幡豆町の倉地よし子議員等もそれぞれの町の要望をそれぞれに提出するとともに、西尾市長にも提出します。



「1 平和・住民本意の地方自治の推進」
①「非核・平和都市宣言を実施すること」
広島、長崎などの被爆の実相を伝える写真パネルを、市庁舎や学校で展示すること。
②国民保護法の名のもとに、「全国同時警報システム」を使って、戦争に対する国民総行動員体制を敷かないよう、国に求めること。

「2 福祉を向上し、暮らしと健康を守る」
①税金滞納者からの徴収対策で、生活を困窮させるような違法な差し押さえをしないこと。
②国民年金でも入居できる老人ホームを建設すること。
老人ホーム待機者は平成22年1月現在655人と多い。施設を増設し待機者を減らすこと。介護サービスすべてを民間に任せ、国、自治体が指導できる体制にするよう、国に要求すること。介護の必要がありながら、介護を受けていない高齢者を放置しないようにすること。
③福祉センターの入浴サービスは、市民が利用しやすい土曜日、日曜日こそ実施してほしい。福祉センターの床をきれいにすること。

10月7日開催の市議会経済建設部会で「新天作川用水かんがい事業」の市負担について説明がありました。★新天作川用水は、昭和40年代に築造されたもので老朽化が進んでいました。この改修は豊田市、岡崎市、幸田町、安城市、碧南市、西尾市、幡豆郡3町の同意のもと、平成6年から着手してきました。★この事業は平成21年9月議会では平成22年度完了予定と報告してきましたが、民主党政権の大幅な予算削減により、事業完了が平成22年から23年に延ばされました。★合併に伴う問題として、この事業費の地元負担金を、権利者（農地を保持している者）に課している自治体と、自治体が負担しており、農家に負担を課していない自治体があることが、合併を機に浮上しました。★西尾市に合併する3町のうち、吉良町と幡豆町は地元負担分をまちが負担しており、農家の負担はありません。合併により西尾市の農家になるのに、自己負担のある人とならない人ができることを、事前の説明無しで合併後に農家を知ったなら不満は出ませんか。★合併は制度の違う町が1つになるのですから、こうした実態を農家によく説明すべきです。それにつけても市長はこの問題どう認識しておられるのか。このままではだまし討ちと言われませんか。



迫る! あいち赤旗まつり

11月3日(祝・水) 午前10時～午後3時
大高緑地公園

- ・名鉄「左京山」徒歩5分
- ・JR「大高」より直行バス
- ・西尾市からも直行バス



参加
協力券

一般1800円 (当日2000円) 大学生500円
高校生以下、70歳以上、障がい者、被爆者の方は無料

中央舞台出演

普天間かおりさんからのメッセージ



普天間さんが力を入れて歌っている自作の「必要なんだよ」(発売中)が、佐賀新聞の16日付朝刊「有明抄」(「しんぶん赤旗」の「潮流」にあたる欄)で、取り上げられました。記事は「不安や孤独を抱えながら精いっぱい生きていく人への応援歌」と記しています。「この歌が持っている力を信じられます。音楽でおなかいっぱいにはならないけれど、心を励ますことはできます」と普天間さん。

・東海ラジオ「普天間かおりのアハハでウフフ」(日曜 後6・0)の番組を持つ普天間さん。ある女性からEメールが番組に届きました。

「友人はいますが、悩みを相談できずに家にこもっていました。そんなとき、普天間さんの歌を聞いて励まされました」と。あたたかい笑顔で普天間さんはいいます。「本土も沖縄もない、歌の力で会場が一つになればいいですね」

(2010年10月1日(金)「しんぶん赤旗」一部抜粋)

雨天決行! 誰でも参加できます
お誘い合わせで参加下さい

雨天決行! 誰でも参加できます

被害農家支援を

宮崎牛と豊橋のうずら

口蹄疫被害にあった宮崎牛と、鳥インフルエンザの被害にあった豊橋のうずら。被害農家支援のため、愛知農民連のみなさんが出店して、「宮崎牛の串焼き」などを販売します。

親子のステージに登場

中部猿芸の会

猿まわし



芸歴15年にもなる、お猿の「十兵衛(19歳)」が親子のステージと大道芸の広場に登場。ベテランの域に達した芸をとくにご覧あれ。

西尾から直通バスが出ます! ご利用下さい。

乗車場所: 西尾市文化会館

出発時間: 3日(水) 午前9時→現地9:50分着

現地出発時間: 午後3:40分→西尾着4:30分

バス利用料金 往復1,000円(子ども無料) 連絡先 牧野次郎 ☎57-3064 牧野かつ子 ☎59-8424

